

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 中央区の記録」の概要

第1章 東京2020大会の開催

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延する中、大会は、史上初となる1年延期、一部を除く無観客での開催となった。安全な大会の実現を最優先とし、大会関連事業も変更・中止を余儀なくされたが、本区は、練習会場の提供や海外参加国の受入れなど大会の支援とともに、非接触で区民参加によるおもてなしなどを展開した。

○ 大会開催概要

- ・オリンピック開催：令和3（2021）年7月23日～8月8日（17日間）
- ・パラリンピック開催：令和3（2021）年8月24日～9月5日（13日間）

○ 聖火リレー（中央区）

- ・オリンピック聖火リレー点火セレモニー（7月20日 浜町公園）
- ・パラリンピック聖火リレー点火セレモニー（8月24日 代々木公園）



オリンピック聖火リレー点火セレモニー

○ 公式練習会場の開設

- ・3x3 バスケットボール練習会場（7月19日～28日 総合スポーツセンター）
- ・7人制ラグビー練習会場（7月21日～31日 中央小学校プール施設）

○ 競技の開催

- ・パラリンピックマラソンの開催（9月5日 区内コース／中央通り、永代通りほか）

○ 選手などのサポート拠点の設置

- ・ブラジルオリンピック委員会拠点（7月23日～8月8日 豊海小学校・豊海幼稚園）
- ・オーストラリアパラリンピック委員会拠点（8月14日～9月8日 晴海中学校）
- ・JSC村外サポート拠点（4月1日～9月30日 ほっとプラザはるみ）



オーストラリアパラリンピック委員会から贈られた選手のサインが入った国旗

○ おもてなし・地域の魅力発信

- ・選手村での折り鶴オブジェ・花のおもてなし・アサガオおもてなしプロジェクトの展開、海外参加国拠点での子どもたちの応援メッセージ掲出など
- ・大会特設ウェブサイト、ウェブ広告、屋外広告等による観光情報の発信

第2章 東京2020大会に向けた準備

大会の開催を本区が飛躍する絶好の機会と捉え、オリンピック・パラリンピック区民協議会の設立による「オール中央区」の体制で、大会気運の醸成、地域の活性化、まちづくり等に取り組んだ。

○ 大会に向けた体制整備

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック対策本部の設置（平成25（2013）年9月8日）
- ・中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会の設立（平成27（2015）年12月17日）

○ 大会気運の醸成

- ・カウントダウンボード、大会PRツールの活用、公式グッズの販売
- ・東京2020参画プログラム、beyond2020の活用
- ・大会気運醸成事業補助金の交付による地域支援
- ・大会関連イベントへの協力
- ・オリンピック・パラリンピックに関する講演会の開催



区役所本庁舎のカウントダウンボード



オリンピック・パラリンピックに関する講演会

○ 大会に向けた本区の実績

- ・「2020年に向けた中央区の実績」に基づく「スポーツ」「国際教育・交流」「観光・文化」「安全・安心」「まちづくり」の5分野の総合的な推進
- ・選手村整備に伴う晴海地区将来ビジョンの推進



スポーツの楽しさ発見事業

第3章 多様な主体の取組

町会・自治会、商店街、NPO、企業などのさまざまな団体が、区民協議会等を通じて地域の情報と課題を共有しながら、スポーツ体験、来街者の受入環境整備、地域交流、まちづくり等に主体的に取り組み、大会気運の盛り上げと地域の活性化を進めた。

○ 地域団体、関係団体、民間企業の取組

- ・子どもたちとオリンピック・パラリンピアンとの交流



スマイルリレープロジェクト/泰明小学校
(株式会社 明治)



WANGAN ACTION スポーツアカデミー / 月島第一小学校
(三井不動産レジデンシャル株式会社)

- ・障害者スポーツの普及啓発



ボッチャ体験&福祉ちよこつと相談会
(中央区社会福祉協議会)



知って体験 障害者スポーツ
(全銀座会)

- ・ボランティアの育成・活動機会創出



日本橋アンバサダー育成プロジェクト
(日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会)

- ・おもてなしの取組



選手村予定地おもてなし大掃除
(中央区地域スポーツクラブ大江戸島)

第4章 中央区の未来につなぐレガシー

「スポーツ」「国際教育・交流」「観光・文化」「防犯・防災」「まちづくり」の5分野をはじめ、地域とともにオール中央区で推進してきたハード・ソフト両面の取組をレガシーとして継承し、本区の未来の発展につなげていく。

本区が目指す姿 “国内外から多くの人々が集い、誰もがあこがれるまち”

スポーツ／誰もがスポーツに親しめる機会を創出し、健康的でいきいきとした社会を実現

- 練習会場のレガシーとして、浜町公園バスケットコートデザインの整備
- パラスポーツの盛り上げを継続させる障害者ボッチャ大会に向けた交流会の実施
- 大会を象徴する物品や選手たちのサイン・メッセージが記載された記念品等の活用

国際教育・交流／グローバル人材の育成と、思いやり・ふれあいのあるまちの実現

- オリンピック・パラリンピックの精神を継承する学校・幼稚園2020レガシーの展開
- 平和とおもてなしの心をつなぐ折り鶴オブジェ等を展示する大会1周年イベントの開催。ほっとプラザはるみリニューアル後は、施設内に常設展示



大会の記憶をつなぐ折り鶴オブジェ

観光・文化／歴史と未来が交差する都市観光の推進により、さらなるにぎわいを創出

- 大会に向け構築した多言語のウェブサイトやプラットフォーム、回遊ガイドマップ等を活かし、観光情報を世界へ効果的に発信
- 「観光おもてなしスタッフ」などを都市観光の担い手として育成し、区民のボランティア活動を定着



区の魅力を伝える観光おもてなしスタッフ

防犯・防災／安全・安心を実感できるまちを目指し、地域の防犯・防災体制を構築

- 地域の防犯設備の面的な整備と適切な設備更新・維持管理により地域の防犯力を強化
- 防災区民組織の迅速かつ的確な応急活動を可能とする防災資器材の供与
- 晴海地区の人口増加に対応する防災拠点の整備

まちづくり／誰もが住みやすく、訪れやすい都市環境の実現

- 晴海地区将来ビジョンの着実な推進とともに、選手村レガシーを活かしたまちづくり(次ページ参照)
- 区民参加型バリアフリーマップの最新情報への更新
- 道路のバリアフリー化や低騒音舗装、遮熱性舗装等の一層の推進による快適な歩行環境の整備
- 区内3カ所に大会のレガシー銘板を設置



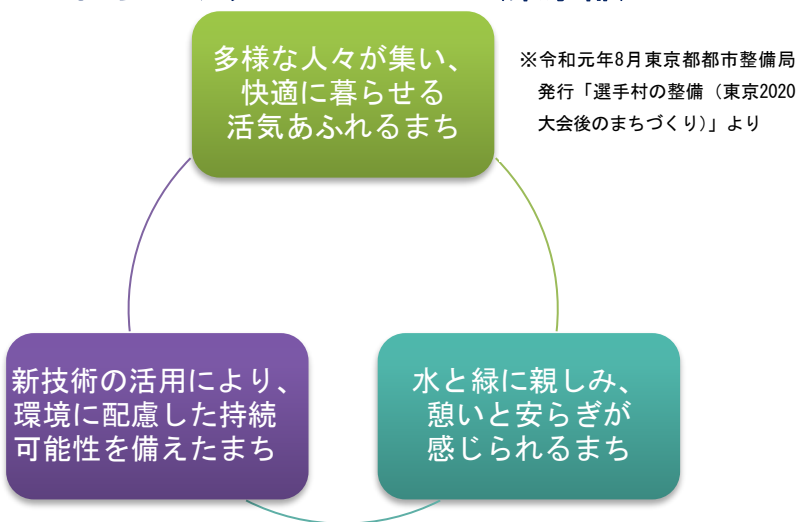
選手村で使用したプランターを活用した花のみどころづくり(石川島公園)

晴海地区の将来のまちづくり

○ まちづくりの考え方

令和6年の新たなまちびらきに向け、選手村レガシーを活用しながら、東京都と連携して「晴海地区将来ビジョン」を踏まえたまちづくりを着実に推進していく

まちづくりのコンセプト（東京都）



東京2020大会後の選手村イメージ（市街地再開発事業の完了時）
※晴海客船ターミナルは大会後に撤去予定。ただし、代替施設（詳細未定）において、引き続き客船の受け入れを行う。
©晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業特定建築者

○ 選手村跡地等における施設整備

HARUMI FLAG（特定建築者）

- ・分譲・賃貸住宅、商業施設、保育施設、介護住宅などを整備
- ・住戸数：5,632戸
- ・建物棟数：住宅棟板状21棟・タワー2棟
商業棟1棟



完成イメージ

©晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業特定建築者

※タワー棟は令和7年度竣工予定

マルチモビリティステーション、船着場（都）

- ・BRTをはじめ、路線バス、コミュニティサイクルなどを導入し、暮らしの足を支える交通広場として整備
- ・あわせて水辺の立地を生かした船着場を一体的に整備
- ・供用開始予定：令和6年春



完成イメージ©東京都都市整備局

晴海ふ頭公園（都）

- ・芝生の多目的広場、展望広場、大型遊具のある遊びの広場、ジョギングが可能な園路や海辺のテラス等を整備
- ・供用開始予定：令和4年秋



完成イメージ©東京都港湾局

晴海緑道公園（仮称）（都）

- ・晴海ふ頭公園から晴海緑道公園を経由して、晴海二丁目の晴海臨海公園につなげることで、水辺の周遊性を向上
- ・供用開始予定：令和4年秋



完成イメージ©東京都港湾局

エネルギー事業（都・区）

- ・水素エネルギーなどの新技術の活用により、持続可能性を備えた環境先進都市のモデルとなるまちの実現。
- ・車両・街区への水素供給
- ・中央清掃工場の余熱を小中学校温水プールの給湯に利用



水素ステーション完成イメージ 出典：ENEOS 株式会社

晴海西小学校（仮称）及び晴海西中学校（仮称）（区）

- ・児童・生徒数の増加に対応する学校施設を整備
- ・ビレッジプラザ木材を1階ホールの組木オブジェに再利用
- ・供用開始予定：令和6年4月



晴海西小学校（仮称）及び晴海西中学校（仮称）完成イメージ

晴海特別出張所（仮称）等複合施設（区）

- ・特別出張所、おとしより相談センター、幼保連携型認定こども園、図書館、保健センターの機能を集約
- ・ビレッジプラザ木材を図書館の枝状木ルーバーに再利用
- ・供用開始予定：令和6年4月
図書館のみ令和6年7月



完成イメージ

ほっとプラザはるみリニューアル（区）

- ・あらゆる世代が集い、地域コミュニティの核となる施設へリニューアル
- ・折り鶴オブジェなど大会の記念品を展示
- ・供用開始予定：令和5年度中



折り鶴オブジェ